



## 平成29年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年9月14日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東  
 コード番号 3075 URL <http://www.choushimaru.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 宮井 徳彦 TEL 043-350-1266  
 四半期報告書提出予定日 平成28年9月29日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年5月期第1四半期の業績（平成28年5月16日～平成28年8月15日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第1四半期	4,781	△2.6	314	△4.4	330	△6.0	206	△3.7
28年5月期第1四半期	4,911	6.1	328	30.5	351	30.3	214	36.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第1四半期	75.58	—
28年5月期第1四半期	73.77	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第1四半期	8,851	5,728	64.7	2,099.52
28年5月期	8,906	5,603	62.9	2,053.93

(参考) 自己資本 29年5月期第1四半期 5,728百万円 28年5月期 5,603百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年5月期	—	—	—	—	—
29年5月期（予想）	—	0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年5月期の業績予想（平成28年5月16日～平成29年5月15日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,820	1.8	460	8.6	488	8.6	280	2.3	102.67
通期	20,450	3.6	950	4.3	997	2.3	545	6.2	200.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年5月期1Q	2,903,600株	28年5月期	2,903,600株
29年5月期1Q	175,356株	28年5月期	175,356株
29年5月期1Q	2,728,244株	28年5月期1Q	2,903,259株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、ゆるやかな回復基調で推移しましたが、中国を始めとするアジア新興国や資源国等の景気が下振れし、我が国の景気が下押しされるリスクもあり、依然として先行き不透明な状況が続いています。

外食業界におきましては、他業種他業態との顧客獲得競争、労働需要の逼迫に伴い人件費の上昇や人材確保が課題になるなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況において、当社は経営理念に掲げる「私達の『真心』を提供し、お客様の『感謝と喜び』を頂くことを私達の使命と致します。」に基づいた「おいしい舞台」作りのために、「鮮度」「海の香り」「魚屋の精神」「番屋の雰囲気」「厳選した旬の食材」を追求するとともに、「おいしい舞台」を完成させるために、「親切・思いやり・誠実さ」に溢れた接客・サービスを愚直に実践し、全社一丸となってお客様に愛される店舗づくりに邁進いたしました。

店舗開発につきましては、当第1四半期累計期間における出退店はなく、当第1四半期会計期間末の店舗数は92店舗となっております。

販売促進につきましては、「桜島活かんぱち」や「函館真いか」など「産地」と「旬」にこだわった銚子丸らしい商品を提供し、当社の主力食材であるまぐろにこだわった「生インドまぐろ5カン」といった高品質かつ、お徳感のあるイベントメニューを継続的に開催してまいりました。

しかしながら、当第1四半期累計期間においてはイベントメニューをはじめとして来店動機を高める価格政策を取りましたが、期待通りの反応が見られず、当第1四半期累計期間における売上高は47億81百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益は3億14百万円(同4.4%減)、経常利益3億30百万円(同6.0%減)、四半期純利益は2億6百万円(同3.7%減)となりました。

(注)金額に消費税等は含まれておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ54百万円減少し、88億51百万円(前事業年度末比0.6%減)となりました。主な要因は、次のとおりであります。

流動資産は、前事業年度末に比べ25百万円減少し、57億91百万円(同0.4%減)となりました。主な内訳は、現金及び預金の増加72百万円、売掛金の減少55百万円及び棚卸資産の減少24百万円であります。

固定資産は、前事業年度末に比べ29百万円減少し、30億60百万円(同0.9%減)となりました。これは、減価償却等による店舗設備の減少によるものです。

#### (負債・純資産)

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ1億78百万円減少し、31億23百万円(前事業年度末比5.4%減)となりました。主な要因は次のとおりであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ32百万円増加し、27億41百万円(同1.2%増)となりました。主な内訳は、買掛金の減少1億83百万円、短期借入金の増加1億63百万円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2億10百万円減少し、3億82百万円(同35.5%減)となりました。主な内訳は長期未払金の減少2億6百万円であります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億24百万円増加し、57億28百万円(同2.2%増)となりました。主な内訳は、当第1四半期累計期間の四半期純利益2億6百万円及び第39期期末配当金の支払81百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、売上高204億50百万円、営業利益9億50百万円、経常利益9億97百万円、当期純利益5億45百万円を見込んでおり、現時点で変更はございません。

今後の見通しにつきましては、引き続き関東エリア(東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県)を重点にドミナント出店を軸として店舗数拡大を推進してまいります。第40期(平成28年5月16日から平成29年5月15日まで)の新規出店数は、8店舗を計画しております。

但し、当社では、新規出店に際しては店舗の採算性を重視しているため、計画した店舗数に見合った出店候補地を十分に確保できない場合や、食材に係る安全性の問題、市況変動等が生じた場合には、当社の業績見通しに影響を与える可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用方針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成28年8月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,098,389	5,171,190
売掛金	114,862	59,739
原材料及び貯蔵品	181,660	157,649
その他	421,240	402,431
流動資産合計	5,816,151	5,791,010
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,077,729	1,055,761
その他(純額)	445,246	454,518
有形固定資産合計	1,522,975	1,510,279
無形固定資産	104,920	97,457
投資その他の資産		
その他	1,463,097	1,454,201
貸倒引当金	△1,078	△1,078
投資その他の資産合計	1,462,018	1,453,123
固定資産合計	3,089,915	3,060,860
資産合計	8,906,067	8,851,871
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,161,648	978,212
短期借入金	150,000	313,500
未払金	955,694	1,046,889
未払法人税等	182,308	141,114
賞与引当金	111,600	55,625
株主優待引当金	33,053	25,917
その他	114,432	179,872
流動負債合計	2,708,738	2,741,131
固定負債		
資産除去債務	204,258	204,701
その他	389,436	178,032
固定負債合計	593,694	382,734
負債合計	3,302,432	3,123,865

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年5月15日)	当第1四半期会計期間 (平成28年8月15日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	315,950	315,950
資本剰余金	236,829	236,829
利益剰余金	5,797,367	5,921,710
自己株式	△746,413	△746,413
株主資本合計	5,603,734	5,728,076
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△99	△71
評価・換算差額等合計	△99	△71
純資産合計	5,603,634	5,728,005
負債純資産合計	8,906,067	8,851,871

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年5月16日 至平成27年8月15日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年5月16日 至平成28年8月15日)
売上高	4,911,028	4,781,443
売上原価	2,043,766	1,947,485
売上総利益	2,867,261	2,833,958
販売費及び一般管理費	2,538,801	2,519,850
営業利益	328,460	314,108
営業外収益		
受取利息	1,102	776
協賛金収入	17,574	12,888
その他	5,044	2,825
営業外収益合計	23,721	16,490
営業外費用		
支払利息	736	505
現金過不足	398	—
営業外費用合計	1,134	505
経常利益	351,048	330,093
特別損失		
固定資産除却損	68	650
特別損失合計	68	650
税引前四半期純利益	350,979	329,443
法人税等	136,810	123,254
四半期純利益	214,169	206,189



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。